

# 市民病院だより

## 大崎市民病院理念

～市民が安心できる医療の提供～

## 大崎市民病院基本方針

市民に適切な医療の提供  
地域に貢献する医療の構築  
健全経営の確保

## 高校生対象のふれあい看護体験を開催しました

本院では毎年、高校生を対象としたふれあい看護体験を開催しており、今年度は7月28日、8月2日、8月3日の3日間で計68人に参加いただきました。コロナ禍での開催であったため、規模を縮小し、感染対策を徹底して開催しました。

ふれあい看護体験は、実際の看護の場においての体験を通して看護の心に触れ、看護職への理解と関心を深める機会とすることを目的としており、今年度も看護職や医療職に関心のある生徒さんから多くの申し込みがありました。

今回は、動画を活用した病院紹介、各部署での施設見学や体験会、先輩看護師との意見交換を行いました。各部署での体験会では、担当看護師と生徒さんとで血圧測定、心音・呼吸音の聴診、車いす体験などを行いました。参加された生徒さんからは、「看護職に就きたいという気持ちが強くなった」「実際に車いすを押してみると難しかった」「患者さんと直接関われなかったが、貴重な体験ができた」「バックヤードを見ることができてよかったです」など感想をいただきました。今回の看護体験を通して得た経験が進路選択の参考となることを願っています。

看護師は、厚生労働大臣の免許を受けて、傷病者や妊産婦の身の回りのお世話をしたり、医師の指示のもと注射や血圧測定など診療の補助を行ったりします。病院や診療所などの医療機関だけでなく、訪問看護や福祉

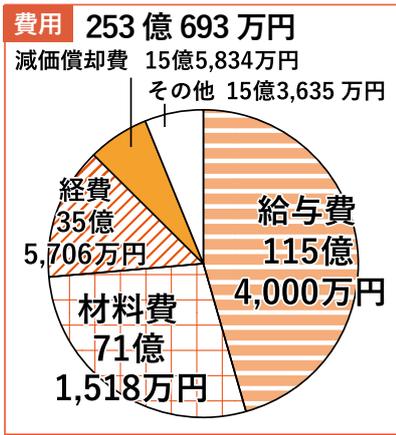
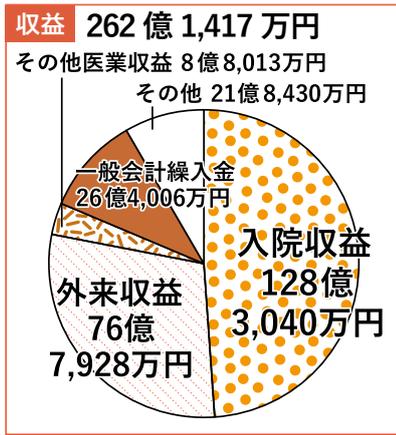
係施設など、地域の人たちの生命と生活を支える専門職として活躍する場がどんどん広がっています。その人がその人らしく生きることを医療と生活の両面から支える奥の深い仕事です。今後もさらに高齢化が進むため、これからの医療を支えるためには看護職が多様な場所でさらに役割を發揮することが期待されています。

これからも、看護職や医療職への理解と関心を深めていただけるよう努めていきます。



▲ 血圧測定を体験する高校生（手前）

# 5年連続の黒字達成！令和3年度決算状況



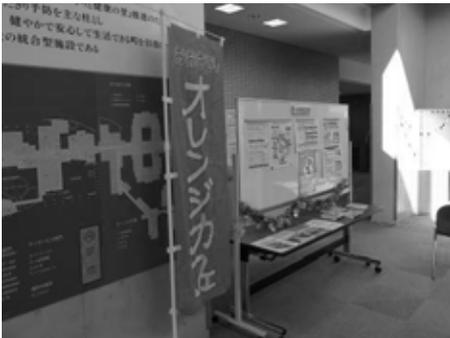
5年連続黒字達成!! **純利益 9億724万円**

令和3年度は9億724万5415円の純利益を計上することができ、5年連続の黒字を達成することが出来ました。新型コロナウイルス感染症が第5波、第6波と急拡大するなど、感染症対応にも一層厳しさを増す中での医療提供となりましたが、病院事業の全ての施設で、新大崎市民病院改革プランに掲げる役割・機能を実実に果たしながら、多くの患者さんを受け入れることができ、収益に繋げることが出来ました。

本院では、前年度同様に新型コロナウイルス感染症患者の受け入れのため、一部入院病床の制限を行ったものの、地域の医療機関や分院等との連携を強化し、効率的な病床管理をするともに、より高度医療に特化した医療提供を行うことができました。

また、分院においても、回復期医療に徹した効果や地域包括ケア病床の効率的な運用などにより、事業全体で医業収益が増加いたしました。例えば健康管理センターでは、治療・精密検査判定対象者に対し、直接看護師等が電話連絡を行い、かかりつけ医などへ受診勧奨をしてきました。その結果、多くの方の早期受診に繋がることができました。また、田尻診療所では居宅介護支援事業所や地域包括支援センター、行政などと連携し、オレンジカフェを開催するなど、認知症についての理解や患者さんやその家族に役立つ情報の発信、地域住民との交流を行いました。

一方、医業費用においては、平成26年度の新本院移転時に整備した器械備品等の償却完了に伴い減価償却費は減少したものの、働き方改革の推進に伴う勤務体制の見直し等による給与費の増加や、抗



▲オレンジカフェの様子

がん剤等の高額薬品の使用量の増加などにより材料費が増加し、医業費用全体では医業収益を上回りました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症対策に係る病床確保やワクチン接種などに積極的に取り組んだ結果、国および県からの各種補助金等により医業外収益が増加いたしました。

なお、鳴子温泉分院の病院建設事業については、令和3年6月に新病院が開院し、旧施設の解体と駐車場整備工事を進めています。今後、地域包括ケアシステム内における機能分化と連携強化を更に推進、拡充を行い、市民の皆さんの健康管理から治療・療養を経て、社会復帰までを一貫してサポートする「地域完結型医療」の構築に向けて取り組んでいます。



▲新しく開院した鳴子温泉分院のリハビリテーション室

経営企画課 財政係

☎ 23・3311 (内線3706)

経営企画課 経営戦略係

☎ 23・3311 (内線3705)

## 保険外併用療養費が変わりました

医療保険制度の改正に伴い、令和4年10月1日より、大崎市民病院本院を紹介状がなく受診を希望される場合に、治療費に加えてご負担いただく初診時の保険外併用療養費と、本院医師が他院へ紹介する旨の申し出を行った患者さんのうち、引き続き当院への通院を希望された場合に、治療費に加えてかかる再診時の保険外併用療養費が左記のとおり変更になりました。

なお、救急搬送を要する受診などはこの限りではありません。

## 初診時の保険外併用療養費

紹介状がなく受診を希望される場合、治療費に加え、ご負担いただく料金です。

5,500 円(税込) ▶ 7,700 円(税込)

## 再診時の保険外併用療養費

本院医師が他院へ紹介する旨の申し出を行った患者さんのうち、引き続き当院への通院を希望される場合、治療費に加え、ご負担いただく料金です。

2,750 円(税込) ▶ 3,300 円(税込)

医療保険制度の中で、国や県は医療機関の病床数や機能に応じた役割の分担を明確にし、医療機関がその役割に応じて協力するとともに、住民一人一人が「かかりつけ医」を持つことを推進しております。

本院では、圏域全体で連携・協力した上で、高度・専門的な検査や手術などの治療や、入院や救命を要する患者さんの受入れを担当します。このため、本院の受診には、かかりつけ医の先生からの紹介状と事前の診療予約が必要で

す。また、本院での検査や治療がひと段落し、病状が安定した方については、かかりつけ医療機関等で診療を継続していただきます。他の医療機関へ紹介された後、大崎市民病院本院を再び受診する場合は、他の医療機関の医師から当院宛ての紹介状が必要です。まずは、かかりつけ医などの他の医療機関に症状等をご相談ください。ただし、救命を要するような救急の場合はこの限りではありません。医療機関の役割分担の推進に、ご理解とご協力をお願いいたします。

### かかりつけ医とは？

① かかりつけ医とは？

② ① かかりつけ医は、患者さんにとって身近な医療機関であり、日ごろの健康相談や服薬管理、ちょっとした急病を担う身近な存在です。国では、一人一人がかかりつけ医を持つことを薦めています。

また、大崎市民病院事業の各分院や診療所は地域のかかりつけ医の機能を担っております。

③ かかりつけ医が無い場合はどうしたら...  
④ 当院ウェブサイトのかかりつけ医検索システムからお調べいただけます。また、患者サポートセンターでも情報提供が可能です。



▲ かかりつけ医  
検索はこちら

⑤ かかりつけ医を持つことで、どんな利点がありますか？

⑥ ⑤ 皆さんの日ごろの状態をよく知っているかかりつけ医が、ちょっとした体調の変化にも気づきやすいため、病気の予防や早期発見、早期治療が可能です。また、当院の登録医療機関であればスムーズに本院へ紹介できますので、かかりつけ医が無い場合は、かかりつけ医検索を活用していただくか、本院患者サポートセンターへお尋ねください。

紹介状および予約に関して

⑦ 本院患者サポートセンター

地域医療連携室 地域医療連携係

☎ 23-3311 (内線1202)

⑧ 初・再診時の保険外併用療養費に関して

⑨ 問 医事課 医事係

☎ 23-3311 (内線1113・1114)

## 入院期間が約半分に！ 経カテーテル大動脈弁留置術（TAVI）

令和4年8月3日、本院のハートチームによる経カテーテル大動脈弁留置術（TAVI）を当院で初めて実施しました。これまで平均21日ほどかかっていた入院期間が、今回の経カテーテル大動脈弁留置術では10日まで短縮され、患者さんは元気に退院できました。

経カテーテル大動脈弁留置術は、主に75歳以上の\*大動脈弁狭窄（きょうさく）症の患者さんが適応対象となっています。開胸することなく、太ももの付け根などの血管からカテーテル（細い管）を使って人工弁（生体弁）を患者さんの心臓まで運び、留置する手術です。傷口が小さく、人工心肺を使用しなくて済むことから、体への負担が少なく入院期間も短いのが特長です。当院での手術が可能になったことで、他の地域で受診することなく治療ができるようになりました。

本院のハートチームは、循環器内科、心臓血管外科、麻酔科、血管外科の医師や、看護師、診療放射線技師、臨床工学技士、リハビリテーション技師、臨床検査技師、社会福祉士などの多くの職種がひとつとなって、手術中はもちろん術前、術後も連携しながら治療に取り組んでいます。

大動脈弁狭窄症は、特有の症状が無いので病気を見落としがちです。日常生活の活動性が低下すると、動けば分かる症状も自覚でき

ないことがありますので、気付かずに重症化し手術治療が必要な場合があります。また、治療を先延ばしにして適切なタイミングを失うと、心臓の働きは低下し、命にかかわる可能性が高くなります。より良い予後のためには、定期検査を受け、少しでも不安を感じたときは、かかりつけ医の先生としっかり相談してください。

※大動脈弁狭窄症：心臓弁膜症の一種で、心臓にある血液の流れを一方に維持する役割を果たす4つの弁の働きが悪くなった状態を指す。



▲経カテーテル大動脈弁留置術の様子

## アンケートにご協力ください

当院では、病院の医療機能や役割、取り組みなどをご理解いただくため、広報誌「市民病院だより」を発行しています。誌面づくりの参考にさせていただくため、アンケートを実施していますので、右記QRコードを読み取りいただき、専用サイトからご回答をお願いいたします。



▲バックナンバー



▲アンケート

## 市民病院だより No.26 2022年10月1日発行【年4回発行】

大崎市民病院 経営管理部経営企画課 TEL 0229-23-3311（内線 3705）

〒989-6183 大崎市古川穂波三丁目8番1号

Web <http://www.h-osaki.jp> E-Mail [kikaku@h-osaki.jp](mailto:kikaku@h-osaki.jp)

編集・発行

